

## 2023年春 合格体験記

京都大 工学部 N・Tさん 土佐高校出身

受験勉強、特に一度それ経験ずみの浪人生の受験勉強は、最後は自分自身が勉強しないと力がつきませんが、その過程の中では他人の力が必ず必要です。TOSAYOBIにはその環境がそろっています。自分が書いた答案を経験豊富な先生方に添削してもらうことは、学力を伸ばす有用な手段のひとつだと思います。私も、志望校に向けた数学の添削や直前期の英作文の添削などでそれを実感しました。ふだん自分では気づけない自分の間違いの癖や採点のポイントがわかったりもします。お世話になった先生方にはこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。

京都工芸繊維大 工芸科学部 K・Fさん 高知学芸高校出身

私は現役生のころ、あまり勉強をしておらず、共通テストで失敗し浪人することになってしまいました。そんな私は予備校に通うにあたって2つのルールを決めました。1つは積極的に添削をしてもらうこと。私は英語と化学の添削を毎日してもらっていました。もう一つは、できる限り毎日、予備校が閉まる午後8時まで残って勉強をしていくことです。私はこれらのルールを守って一生懸命勉強し、そんな私を予備校の先生方も学習面、生活面で支えてくださいました。おかげで私は念願の第一志望に合格することができました。これから予備校に通うみなさんも、自分のルールを決め、先生方を頼ってがんばってください。

岡山大 文学部 Y・Hさん 高知商業高校出身

現役の時共通テストで思うように点数が取れず、二次試験対策も不十分だったため、そもそも志望校を受験することすら難しい状態でした。しかし、TOSAYOBIで一年間、改めて基礎から学び直すことで、無事に合格をつかむことができました。苦手なものを無理に克服せずとも、得意なものをさらに強めていくのも一つの手だと思います。自分のペースでコツコツと頑張ってください。

広島大 教育学部 T・Hさん 土佐高校出身

現役の時はどこも不合格で、浪人が決まった瞬間は悔しくてたまりませんでした。心機一転、TOSAYOBIで頑張ろうと、4月からほとんど毎日、放課後夜8時まで自習して帰りました。常に開放された自習室は私にとって非常に大切な場所でした。浪人中もなかなか思うような結果が出ずに自尊心を失いそうなきもありませんでしたが、常に励ましてくれる先生方、惜しみなく与えてくれる豊富なデータ、周りで頑張っている仲間たちの姿のおかげで、二次試験では自信をもって受験に臨むことができました。

愛媛大 法文学部 O・Mさん 高知追手前高校出身

私は現役のときに「基礎固めができていなかったため不合格になってしまいました。そのため、浪人してからは、基礎的な知識を重点的に学習しました。また、先生方が最後まで親身に添削の対応をしてくださり、時には優しい声掛けもしてくださったおかげもあり、最後までやり遂げることができました。この一年で、私は自分の弱点にしっかり向き合い克服できたと思います。

香川大 工学部 K・Mさん 高知学芸高校出身

私は、現役時の共通テストでは納得のいく得点をとれた教科はほとんどありませんでした。その結果、志望していた大学に合格できず、浪人することになりました。TOSAYOBIでは、授業が学校のような形式なので、とても集中して勉強することができました。また、苦手な教科を添削指導してもらい、苦手分野の克服をすることで、今年は現役時からの志望校に合格することができました。一年間ありがとうございました。

高知大 医学部 Y・Sさん 高知学芸高校出身

私は現役生のとき、共通テストで失敗し、二次試験の数学でも目標としていた点数が取れず、浪人することになりましたが、TOSAYOBIの授業と添削のおかげで実力をつけることができました。TOSAYOBIには勉強に集中できる環境が整っていて、切磋琢磨できる仲間もいて、最後まで勉強でき志望校に合格できました。成績がふるわず落ち込むこともあると思いますが、浪人期間は長いようであつという間に過ぎてしまうので、後悔の残らないよう頑張ってください。

高知大 理工学部 T・Kさん 高知小津高校出身

現役生のときは、大学入試のことも詳しくわかっていなくて、成績もなかなか思い通りに上げることができませんでした。浪人してTOSAYOBIに入学してから、ひとり暮らしをするようになり、勉強時間が短くても効率よく勉強できるようになりました。添削指導や講習会などで様々な問題を解き、苦手をなくして得点につなげていくことができました。この一年、TOSAYOBIで浪人してとても良かったと思います。

鹿児島大 水産学部 H・Tさん 高知小津高校出身

現役生のころは受験生らしい勉強をほとんどせず、もちろん不合格。この一年も自分が嫌になることが多々ありました。しかし、先生方や両親のサポートもあり、日々添削に打ち込むことができました。三日坊主の僕が添削を続けることができたのは、親身になって将来を考えてくれる先生と好きな教科である生物の存在のおかげです。この二つが勉強への意欲を高めてくれました。苦手な教科をやることも大切ですが、自分がどうしたら勉強を続けることができるかを知ることがもっと大切です。

岐阜薬科大 薬学部 K・Yさん 高知追手前高校出身

浪人することを決めたときは、成績が伸ばせるのかどうか不安に思っていました。しかし、TOSAYOBIに入学し、授業を受け自習もしてく中で、着実に成績を伸ばすことができました。特に数学や化学の個人添削では、答案の作り方を指導していただき、二次力の向上につながりました。周りで勉強している仲間たちや、頻繁に行われる模試の結果がモチベーションとなり、受験勉強に励むことができました。TOSAYOBIの先生方のおかげで有意義な一年間を過ごせました。ありがとうございました。

大阪公立大 経済学部 K・Tさん 土佐高校出身

僕は諦めずやり続けるということが勉強では大切だと思います。僕は英語が苦手な長文を読むのに時間がかかっていました。だからまず、長文を読むときは品詞分解や構文の確認をしながら読みました。模試ではいい成績は出ませんでした。二次試験では時間が10分以上余るほどになり、余裕をもって見直しをすることができました。よって僕は諦めずやり続けてよかったと思いました。浪人生は勉強ばかりで辛いと思いますが、結果はついてくるはずなので頑張ってください。

島根県立大 人間文化学部 S・Kさん 高知西高校出身

私は添削指導を通して、わかったつもりになっているところが多数あったということに認識しました。添削では、基礎を改めて身につけられるだけでなく、答案の書き方や解答パターンも学ぶことができました。その結果、添削を頑張った科目は、共通テストで目標としていた点数を取ることができました。この一年で、長年の夢である職業になるための第一歩を踏み出すことができました。ありがとうございました。

高知工科大 システム工学群 T・Kさん 高知小津高校出身

浪人するにあたって大事なことは、やはり勉強へのモチベーションだと改めて感じました。予備校に入学したときは誰も、心機一転頑張るぞという気持ちになるとは思いますが、必ず中だるみの時期がやってきます。そのときは、苦手分野の問題に取り組んだり、赤本を解いたりして、程よい緊張感を手に入れてください。過度に緊張を崩せると、逆にメンタルを傷つけてしまうので気をつけてください。自分が本当にやりたいことを吟味して、夢に向かって努力していきましょう。